

# Hawaii Report (No.3)

令和4年9月 15日

## 3日目(9月14日)

ハワイ島にある姉妹校ホノカア高校での短期留学3日目は、午前中に上級生の日本語の授業、午後に美術の授業に参加しました。日本語の授業では、日常的な習慣について日本とハワイで似ている点と異なる点を列挙し、その理由を英語と日本語を交えて討論しました。特に、担当のタニモト先生の「お土産をもらった時に、目の前ですぐを開けるかそうでないかの違いが非常に興味深い」というお話が印象的でした。



日本語の授業(左), 美術の授業(右)の様子



本日の夕食で留学生の2人はホストファミリーのためにお好み焼きを作りました。ほどよく薄いお肉がなく、スパムで代用するなど完成までに苦労がありましたが、何とか出来上がりホストファミリーにも大変喜んでいただけました。

キャベツを切っています

ホストファミリーと一緒に

## 4日目(9月15日)

午前中に日本語と科学、午後は生物とファッションデザインの授業に参加しました。生物の授業では、きれいに洗ったつもりの手を特殊な薬品を付けてブルーライトをあてて見ると、意外と汚れているということが分かる実験に参加しました。



生物の先生(中央)と



ファッションデザインの授業の様子

放課後は、「Up link」と呼ばれる活動に参加しました。この活動は、ホノカア高校の生徒と、日本の中学校に相当する「Intermediate」の生徒のうち希望者がグループに分かれて一緒に活動するもので、今回加計高校の2人は参加者に日本のクイズを出し、その後、折り紙の折り方を説明して一緒にいくつかの作品を作りました。特に、折り紙で作ったカエルが大好評でした。参加者から「もっともっと教えて〜!」とアンコールが出ていました。



中学生と話し込んでいます



折り紙教えています



作った作品と一緒にポーズ!